

国際機関名 (英語略称)	アジア工科大学(AIT)
英文名称	Asian Institute of Technology
種 別	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国別開発協力第1課

【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】

本部所在地:タイ(バンコク)

活動目的等: アジア地域の土木工学等のための国際高等教育機関として1967年にタイに設立。アジア地域の経済開発のために必要な土木工学等の技術者、特に高級技術者の育成、強化を目的とし、これらの分野の人材の育成、強化を目的としている大学院大学である。

【当該国際機関の財政(2016年予算)】(千タイバーツ)

出典:当該国際機関からの報告

	総収入	総支出
分担金・義務的拠出金	-	-
任意拠出金(注)	971,215	946,967

会計年度:暦年(1月~12月)

会計検査機関名:KPMG

(構成員の出身国:)

【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等(2016年のもの)】

出典:当該国際機関からの報告

国 名	金額(千タイバーツ)	拠出率(%)
1位 タイ	132,158	54%
2位 バングラデシュ	20,405	8%
3位 インド	16,357	7%
4位 日本	10,978	5%
5位 英国	10,844	4%

【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (年のもの)】

出典:

国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位		
2位		
3位		
4位		
5位		

【我が国による拠出の形態】

分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:

任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:国際開発教育・研究機関拠出金、外務省(B票参照)

【当該国際機関で働く邦人職員(2016年のもの)】

邦人職員数	8人	当該機関全体の職員数	114
うち幹部以上	うち2人	及び邦人職員が占める率	7.0%

【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】

ポストの名称	職 員 氏 名	備 考
副学長	山本和夫	東京大学教授と併任
Regional Resource center for Asia and pacific センター長	水野理	環境省

【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)

なし

【備考】

任意拠出金(総収入)には、学費収入、加盟国、その他機関・企業からの拠出・寄付等が含まれる。ただし、加盟国、その他機関・企業からの拠出・寄付等については、関係費用を支出する際に当該支出額と同額が総収入に計上される。